



岐阜トヨペット株式会社
〒501-6012 岐阜県羽島郡岐南町八剣 4 丁目 1 番地
<https://www.gifu-toyopet.jp/>



あたりまえの、その先へ。

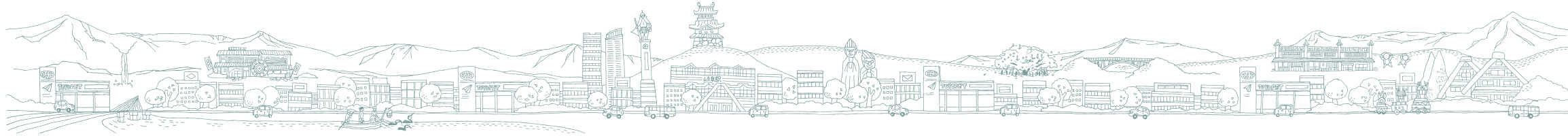


あたりまえの、その先へ。
岐阜トヨペット





あたりまえの、その先へ。
岐阜トヨペット



■ 会社概要

本 社	岐阜県羽島郡岐南町八剣4丁目1番地
代 表 者	代表取締役会長 加藤 誠三 代表取締役社長 加藤 茂樹
設 立	1956年(昭和31年) 4月8日
資 本 金	6,000万円
事業内容	新車(トヨタ・レクサス)の販売、U-Car(中古車)の販売、 自動車の整備・点検・修理など
売 上 高	218億5,646万円(2020年3月末現在)
従業員数	445名(2020年3月末現在)
決 算 期	3月31日(年一回)
主要取引銀行	十六銀行、大垣共立銀行、岐阜信用金庫
HPアドレス	https://www.gifu-toyopet.jp/

■ 経営理念

1. お客様を第一に考え、
喜んでいただける応対を心掛け、
愛され、信頼される企業を
目指します。
1. 社員と家族の幸せのため、
働きやすく、成果が報われ、
やり甲斐のある職場づくりに
取り組みます。
1. 社会に役立つ活動を通じ、
地域に貢献できる企業を
目指します。

人にとって車とはなんだろう。1956年の創業以来、私たちはいつも考えてきました。夢であったり、憧れであったり、時には大切な家族であったり。新しい毎日を送るために選ばれた1台には、確かにそれぞれの願いがこめられています。それは時代が変わっても変わらない事。人の願いと車を結ぶために、そして、人と自然と車がいつまでも一緒に走り続ける社会、「緑」「安心・安全な街」「きれいな街」「クリーンな未来」の実現を目指して、これからも走り続けます。

1. 緑

ふれあいグリーンキャンペーンを毎年実施。
2019年5月で44回目を迎え、緑の大使としてミスインター
ナショナル日本代表を招き、岐阜県や岐阜市に苗木を贈呈・植
樹を行い、緑の輪を広げています。
(植樹本数は今までに 33 品種・5,015 本になります)

2. 安心・安全な街

セーフティキャンペーンを実施。各店舗に保存水 100 本を備蓄し、
大規模災害発生時には、一斉に被災地へご提供します。

3. きれいな街

地域清掃活動を毎月実施。
ボランティア活動の一環として、毎月クリーン活動を行い、
各店舗周辺の清掃活動を行っています。

4. クリーンな未来

国際環境管理システム ISO14001 認証を取得。
これからの地球や人類の事を考える上で、環境問題を度外視する
ことは出来ません。そこで当社は、環境に関する国際規格
(ISO14001) の認証を取得し(県下業界初)、環境に配慮した
業務を推進しています。

■ 編集方針

本レポートは、岐阜トヨペットが取り組んでいる環境・
社会貢献活動について報告しています。岐阜トヨペッ
トの環境に関連する取り組みを開示することにより、
多くのステークホルダーの皆さまと情報を共有し、持
続可能な社会につながればと考えております。

■ 報告の対象範囲

対象組織：岐阜トヨペット全社、全事業
対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日
※一部、最新の情報を記載しております。
発 行：2020年12月

■ 70 周年ビジョン



岐阜トヨペット70周年ビジョン

お客様が、繰り返し繰り返しご利用くださり、
太く長く、お付き合いをしたい存在になる。

■ 岐阜トヨペットの店舗事業の紹介 2020.03 現在

岐阜地区

- 01 岐阜東バイパス店
- 02 島店
- 03 長良店
- 04 岐南店
- 05 各務原店
- 06 レインボーモール店
- 07 県庁前店

西濃地区

- 08 大垣店
- 09 大垣西店
- 10 大垣北店
- 11 真正店



中濃地区

- 12 美濃加茂店
- 13 関店
- 14 郡上店
- 15 可児店

東濃地区

- 16 多治見店
- 17 恵那店
- 18 土岐店
- 19 中津川店

飛騨地区

- 20 高山店

U-Car 店舗

- 21 U-Car 岐南店
- 22 U-Car 大垣店

岐阜地区

- 23 レクサス長良

センター

- 24 BPセンター
- 25 物流センター
- 26 U-Car センター

マルシェ事業

- 岐阜方面
- 羽島方面

農業事業

- 宇津志ファーム
- 伊自良ファーム



トップインタビュー

お客様、社員と家族の幸せのために、 社会に役立つ活動を通じ、 地域に貢献できる持続可能な企業を目指します。

岐阜トヨペットは 2026 年に 70 周年を迎えます。「人にとって車とはなんだろう」創業以来取り組んできた、人と自然と車がいつまでも一緒に走り続ける社会の実現。そして、これからの岐阜トヨペットのビジョンを加藤茂樹社長に語っていただきました。

岐阜トヨペットは1956年の開業以来、自動車販売やメンテナンス事業以外に、様々な取り組みを行ってきました。そして、今回環境レポートを発行しました。

70周年を迎えるにあたって岐阜トヨペットは、今まで様々な環境や地域社会への貢献活動を行ってきましたが、もっと社内外に知ってもらい、社員にはそれを誇りに思ってもらうために、「環境レポート 2020」を発行することにしました。そこに紹介されている活動は、経営理念の実現に向かっていきます。岐阜トヨペットの存在意義に通じるものです。

60周年を迎えた後に次の70周年に向けたビジョン

70周年ビジョン「お客様に繰り返し繰り返しわが社の商品やサービスをご利用いただき、太く長く、お付き合いをしていただける存在になる。」は、本業も本業以外の取組でも、社員の幸せとお客様や地域の方達との繋がりを大切に、人と自然と車がいつまでも一緒に走り続ける社会を目指しています。

農業ではなく「食育事業」を 本業に加えました

食育事業は何かきっかけだったのでしょうか。
そして、農業ではなく、「食育」なのですね。

農業ではなく食育事業なのです。未来を生きる子ども達が、どこでどうやって作ったかわからない物を食べるのではなく、毎日食べるものが本当に安全であるかを知ることが大切だと思います。これはぜったい安全というものを、まずは自分達ができること。そして子ども達に畑で野菜ってこんな風になっているんだ、こうやって採るんだ、ということを体験してもらいます。それと同時に食育なので、なぜこの野菜は安全で栄養価が高いのかを知ってもらう。こうした活動を通じ、仲間を増やして、農業や化学肥料を使わない手間のかかる有機農業を、たくさんの人達と意識を持って取り組みたい。立ち上げて3年目になりますが、ただ作物を栽培して販売するだけでは、なかなか収益は出ません。10年後には自然食レストランや宿泊して農業体験ができる「里山テーマパーク」にしたいと考えています。岐阜は自然が豊かで、都会にアクセスがしやすいので、多くの人に都会から来て農業や自然を体験して欲しいと思っています。

食育事業で作った野菜や米を販売する
「移動マルシェ」もやっていますね。

食育事業で生産した野菜や米、食品を車に積んで、買い物に困っている地域で移動販売を始めました。人口減少によってスーパーが撤退したり、高齢化が進み免許を手放す人が増えて、日常の買い物に困っている地域があることを知りました。車を手放したらお客様との関係が終わるのではなく、地域の困っている人のためになる事業を始めたのです。買い物が不便なのは過疎地だけではなく、岐阜市内の元ニュータウンといった、若い人が出て行った地域もあります。こうした地域の自治会から引き合いが多く来ています。



県内自動車販売店唯一認証取得の 環境マネジメントシステム ISO14001

岐阜トヨペットは環境活動に熱心に取り組んでいますね。

もともと自動車ビジネスには環境に負荷をあたえるという側面があります。ガソリンで自動車を走らせると排気ガスを排出します。使用済みのオイルやエアコンのフロンガスは適正に処理をしなければ環境汚染につながります。だからこそ、環境マネジメントシステム ISO14001でそうした環境負荷を少しでも低減し、地球環境を考えた取り組みを2002年から行っています。

そしてカーライフを安全安心にする取り組みも推進していますね。

車を販売している者として、安心・安全の提供というのは、重要な義務だと思っています。自動車を常に良い状態で安全にお乗りいただくためには、点検や整備が必要です。そしてぶつかりにくい車、安全装置の付いた車を積極的にすすめることも私たちの大切な役割です。交通安全という点では、今まで交通安全の教材を幼稚園や保育園に提供していました。昨年からさらに1歩踏み込んで、子ども達に対し交通安全教室を行い、事故をしない・巻き込まれないための働きかけを始めました。将来のドライバーになる子ども達に「横断歩道の前では自動車は必ず止まること」を学んでもらいます。そのことによって同時に子どもたちの親にも、交通ルールを再認識してもらうきっかけになりました。

「岐阜トヨペットがあってくれて良かった」と、 地域に頼りにされる取り組みをしています

女性ドライバーのサポート活動を女性チームが行っています。

女性社員数名で「サンフラワーズ」というプロジェクトを結成し、女性のカーライフをサポートすることで、女性一人でも訪れやすいディーラーを目指しています。相対的に言うと女性は車にあまり詳しくない方が多いです。専門用語を使われたらチンプンカンプンだと思うので、だれにでもわかりやすく安心して車を選んでいただけるように心掛けています。また、女性一人でも入りやすく、居心地の良いお店づくりにも取り組んでいます。各店舗ではフラワーアレンジメントやクリスマスリース作りなどお客様参加型の体験イベントを開催しています。こうしたイベントによって大変多くの女性のお客様に店まで足を運んでいただけるようになりました。フリーパーパーやインターネットを通じてお出かけ情報なども発信し、「女性にもっとカーライフを気軽に楽しんでもらおう」というプロジェクトです。こうした活動は、女性社員の能力を伸ばす活躍の場でもあります。

岐阜トヨペットはたくさんの環境保全を行っていますね。

2012年から始まったトヨタソーシャルフェスに、たくさんの社員がボランティアとして参加しています。岐阜県では長良川クリーン作戦として河川敷や堤防の清掃活動をしています。このイベントの参加者は定員100名の一般公募ですが、各トヨタの販売店から社員がスタッフとしてお手伝いしています。岐阜トヨペットでは自ら手を挙げて毎回80名ほどが参加しています。これだけ多くの社員が自主的に参加していることは、誇るべき会社の財産です。

1976年に始まったトヨペットふれあいグリーンキャンペーンを長年継続しています。ここ数年では単なる植樹ではなく、地元の幼稚園・小学校・特別支援学校の生徒のみなさんと一緒に花壇づくりなどを行っています。



岐阜トヨペット 70 周年を迎えるにあたって

まだまだ見えていない大きな話ではなく、今やっていることの延長だと思っています。70周年ビジョンとして掲げているように、社員とお客様の関係、会社と地域の関係をもっと深めていきたいです。社員とお客様は、家族や友達のようにお互いをよく知っていて、信頼できる関係。会社と地域は、町内の人、地域の人と交流し、そこに岐阜トヨペットのお店があることを感謝してもらえるような関係。そして、社員一人ひとりが、仕事が楽しく、前向きに一生懸命で、人として成長できること。お客様や地域のために自ら進んで貢献できる人ばかりの集団になる、ということが一番の夢です。

最後にこれから岐阜トヨペットの目指す SDGs の目標は？

それは SDGs 11「住み続けられるまちづくり」です。やはり当社は岐阜という地域、地元根差した企業であり、各店舗を通して地域との繋がりを大切にしています。岐阜は自然が豊かな素晴らしい環境を持っている地域です。その環境を守り、活かし、岐阜に住むすべての人の暮らしが、本当の意味でもっと豊かになるお手伝いをしていきたいと思っています。



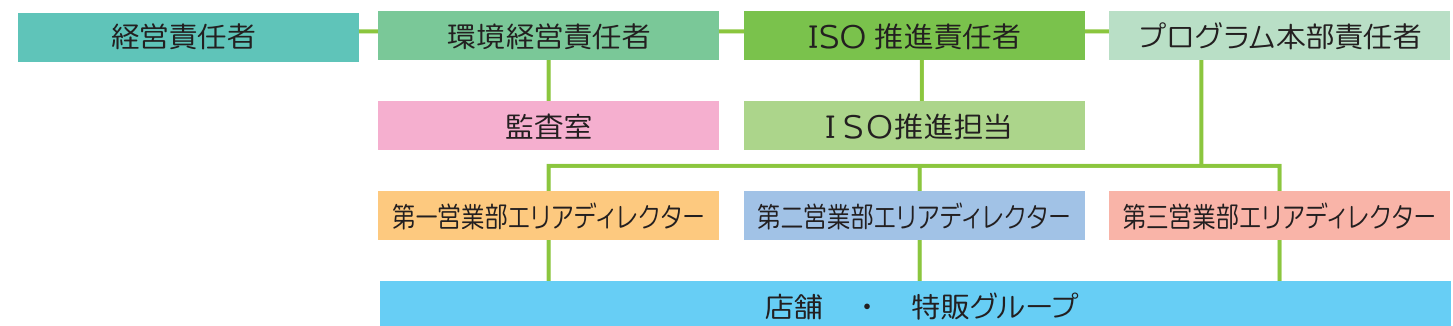
岐阜トヨペット株式会社
代表取締役社長 加藤茂樹

環境マネジメント

岐阜トヨペットは2002年より環境に関する国際規格（ISO14001）の認証を取得（県下業界初）、順次適用範囲を拡大し2019年には本部管理部門と14店舗にて認証取得しています。これからも人の願いと車を結ぶために、そして、人と自然と車がいつまでも一緒に走り続ける社会、「緑」「安心・安全な街」「きれいな街」「クリーンな未来」の実現を目指して、走り続けます。



環境マネジメント組織図



環境方針

- ① 事業活動を行うに当たり、環境への負荷を正しく認識し低減に資するよう、全社員で積極的かつ継続的に環境改善に取り組む。
- ② 環境保全は、汚染発生の原因究明が基本と考え常に教育、訓練に努め技術の修得により再発を防止し、汚染の予防を図る。
- ③ 事業活動において率先し省資源、省エネルギー、リサイクルの推進に努め、廃棄物の発生削減に取り組む。
- ④ 環境に関する法律、規則、協定等を順守しさらに自主基準を定めて、環境保全レベルの向上を図る。
- ⑤ お客様への車に関する環境情報を積極的に提供し、低公害車・低燃費車の普及に努める。
- ⑥ 地域社会への貢献を大切に地域の環境保護活動に協力する。

環境マネジメント（ISO14001）の取り組み

2020年3月に本社管理部門、長良店、大垣西店がISO14001の認証取得し、その後岐阜南店・各務原店・美濃加茂店・大垣店・レクサス長良・多治見店・高山店・県庁前店・関店・恵那店・岐阜東バイパス店・土岐店で認証範囲を拡大しました。また、2016年の定期審査において、ISO14001（2015年度版）への移行をしました。

2019年度 内部監査



2019年度 ISO更新審査



排気ガス、燃料消費を低減するため、低公害車・低燃費車の普及に努める

- ①ハイブリッド車の増販
地球温暖化の原因とされるCO₂の排出を抑えた、HV、PHVの販売。排気ガスを出さない燃料電池車（FCV）の販売に取り組んでいます。



燃料電池自動車 MIRAI

プラグインハイブリッド車 プリウス PHV

- ②プラグインハイブリッド（PHV）車用充電スタンド（G-Station）を全店舗へ設置。



充電スタンド（G-Station）

廃棄物対策

廃棄物の適正処理

- ① 確実な処理業者を選定する等、出てくる廃棄物を処理するだけの行為から、排出を抑制し、資源の再利用化を前提に分別回収、環境負荷を低減する活動に取り組んでいます。



産業廃棄物置場

適性廃棄物保管場所の改善

- ② 分類ごとに仕切りを設置し、排出時の分別を実施しています。
- ③ 廃棄物が雨に濡れないよう屋根を設置し保管しています。
- ④ 廃棄物からオイル等が流出しないよう前部を高くしたり、油溜めを設置し、外部へ流出しないようにしています。
- ⑤ 有害物質が床下に浸透しないよう、更に清掃しやすいように床面はコンクリート施行しています。
- ⑥ 廃棄物置場は廃棄物回収業者のトラックが出入りしやすい場所に設置しています。

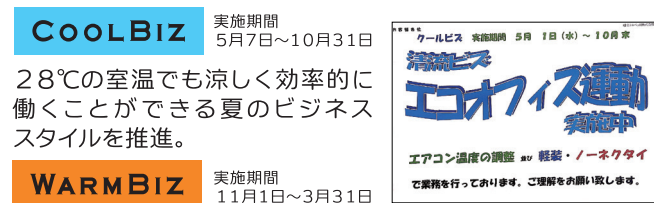


分類ごとのゴミ箱の設置

エネルギーの削減

地球温暖化を防止する国民運動

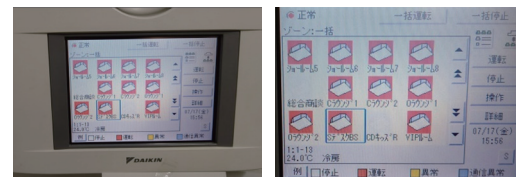
「チャレンジ25キャンペーン」に協力しています。



室内温度の設定を「21℃」より 1℃下げ「20℃」とし、暖房に頼りすぎず、働きやすいビジネススタイルを推進。

電力デマンドシステムの導入

土岐店・レクサス長良にて、電力をみえる化し、ピーク時の電力を抑制するようにしています。



デマンドシステム 管理モニター

緊急時への対応

※緊急時は：・地震・火災・有機物が敷地境界線を越える、または超える恐れがある場合。

- ① 油の流出等が確認された場合の緊急備品を設置し、流出の拡散防止を図れるように準備しています。
- ② 緊急連絡ルートを作成し、緊急時に早急な連絡・報告を行えるようにしています。
- ③ 年1回の油等の流出を想定した緊急訓練を実施し、緊急時の迅速な対応が出来るようにしています。



緊急訓練の様子



整備工場に設置した緊急備品

排水関連

- ① 大型の油水分離槽を設置し、滞留時間を十分に確保し、油分や汚れが分離するようにしています。
- ② “油水分離槽”を毎週定期的に確認し、油浮きが確認された場合は清掃を実施年2回の取引業者にて油水分離槽を清掃し油水分離槽の機能を確保出来るようにしています。
- ③ 地域排水の調査
自主基準を設け、年1回、外部機関にて水質検査を実施し、異常がないかの確認を行っています。
- ④ 緊急時に排水の流出を早急に止められるように、油水分離槽への入口、もしくは出口に止水弁を設置し容易に流出を遮断出来るようにしています。



油水分離槽

近隣の環境保全

- ① 特定設備に係る、振動・騒音の確認把握。
・毎週金曜日に、重点管理日常点検表による機器の点検を異常がないか確認をしています。
・年1回の振動・騒音測定の実施しています。
- ② 静音・節水タイプの洗車機を導入し近隣住民の皆様へ騒音低減等の配慮を行っています。
- ③ 静音タイプのアコンプレッサーを導入し、振動・騒音の低減に取り組んでいます。



静音・節水タイプの門型洗車機



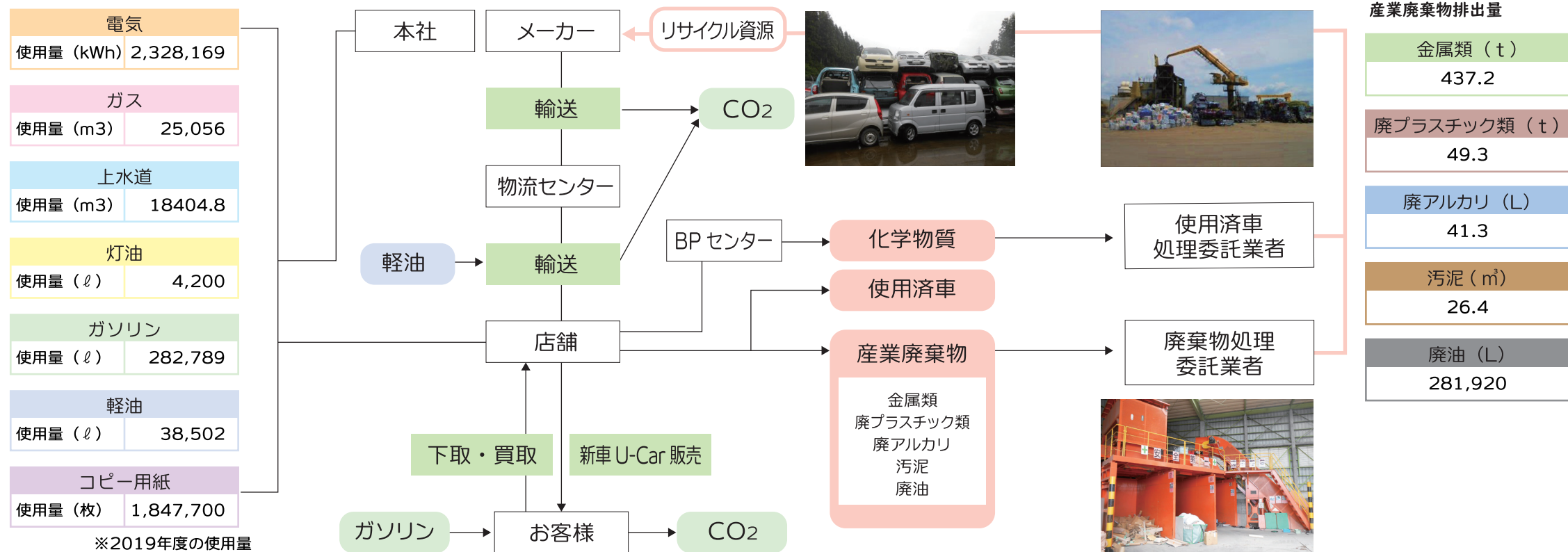
静音タイプのアコンプレッサー

環境影響とマテリアルフロー

岐阜トヨペットは CO₂ の排出がガソリン車より少ないハイブリット車や PHV 販売、FCV を販売することにより地球温暖化防止に貢献しています。また、ISO14001 の活動を通じ、省エネルギーへの取り組み、廃棄物の適正処理に取り組んでいます。そして、地域の皆様とつながる店舗づくりの為に設備の見直し、振動・騒音の低減に取り組んでいます。

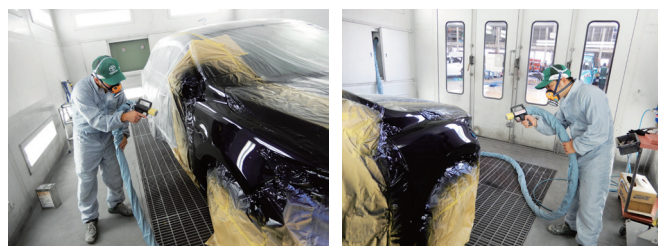
環境負荷低減への取り組み

日々の業務の中で、使用する資源の節減、排出される廃棄物の適正処理に取り組んでいます。



環境にやさしい水性塗料

自動車の钣金修理では環境や人体に悪影響を及ぼす VOC (揮発性有機化合物) が広く使われています。この VOC の排出を低減する為に、有機溶剤の代わりに無害の水を利用する水性塗料が注目されています。環境に優しい塗料として、板金塗装工場でも徐々に取り入れているところがあります。水性塗料は湿度の影響を受けやすく扱いや仕上がりの面で難しいといわれていますが、水性なのでいわゆるシンナーのにおいもなく、作業する人にとっても優しい塗料ですので当社でも作業者の技術力を高めながら積極的に採用しています。



太陽光発電システムの導入

CO₂を排出しない発電システムとして、2019 年3月に恵那店にて、太陽光発電システムを導入しました。



環境実施計画

岐阜トヨペットは、ISO14001の要求事項に基づき、目的・実施計画を作成し、環境活動に取り組んでいます。
毎年、取り組み状況、実績を確認し、翌年の目標設定に反映し、更に環境に貢献できる活動となるようPDCAサイクルを回しています。



EMS活動（2019年度）

ISO14001（2015年度版）の要求事項に基づき、目的・目標、実施計画を作成し取り組みをすすめました。

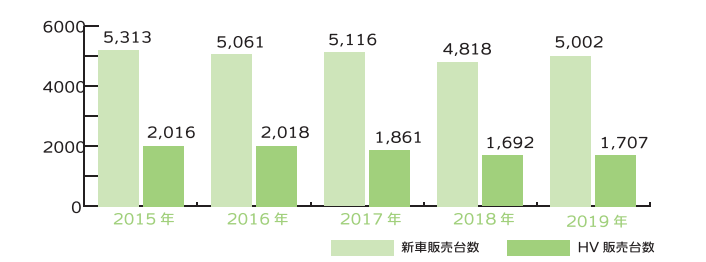
目的		著しい環境側面・リスク及び機会・順守義務	目標	実施事項
地球環境対策	地球温暖化防止	○低公害車・低燃費車の販売	低公害車・低燃費車の普及及び環境負荷の低減	・ハイブリッド車の販売状況の把握 ・イベント、キャンペーンの立案 ・U-Car 低公害車・低燃費車(HV)の店舗販売推進
		○エコ商品の販売	エコ商品の普及によるCO2の低減	・エコ商品販売推進、実績の把握(省燃費オイル、バッテリー、タイヤ)
		○指定整備適正運営の推進	車検在庫量の増大	・車検実施台数の増大・適正運営の実施
		○修理車からの特定・代替フロンの排出	修理車からの特定・代替フロンの回収・再利用	・フロングスの回収・再利用 (フロングス・エアバッグ回収処理実績管理表の記入)
省エネルギーの推進	○省エネルギー対策		原単位*によるウエス使用量の削減	・床面を汚さない工夫をする ・床面は汚れた箇所のみ清掃する
			原単位*による電気使用量の削減	・空室では消灯の励行、昼休み消灯に努める ・環境関連イベントへの参画
			原単位*による水道使用量の削減	・洗車は速やかに行なう ・不要な水道水は使わない、すぐ止める
地域環境対策	近隣住民に安心してもらえるテクノショップ	○グリーンキャンペーン活動の展開等	グリーンキャンペーン活動の展開等	・イベント、キャンペーンの立案 ・緑の募金の展開、寄付
		○全社一斉ボランティア活動の実施	月1回全社一斉ボランティア活動	・毎月第二水曜日に店舗並びに本社近隣の清掃活動の実施
		○洗車・下回り洗浄及びテクノショップの床洗浄による排水及び汚泥の排出	油水分離槽の適正な管理 水質の適正管理	・床面を汚さない工夫をする(汚れたらすぐにふき取る) ・毎週金曜日に油水分離槽の点検・清掃の実施 ・年2回 専門業者による油水分離槽の汚泥回収を実施 ・年1回 専門業者による排水質検査の実施
		○オイル交換の新油の保管	新油・廃油・廃部品の適正な保管	・消防法に適合した少量危険物置場の設置、保管量の管理
		○車両入庫時、保管時における油の流出	緊急時における影響の拡散防止	・毎年7月に緊急事態想定訓練の実施
		○部品交換による廃部品の排出	本部スタッフによる周辺のチェック	・チェックシートに基づく周辺チェック、改善指示
		○騒音・振動の発生	住民の生活環境を保全する	・年1回、特定施設に係る、騒音・振動の測定
廃棄物対策	使用済車の適正な処理	○使用済車の排出	使用済車処分許可業者との取引	・委託業者の選定と許可の確認、契約締結
		○電子マニフェストシステムの運用	電子マニフェストシステムの適正運用(使用済車)	・自動車リサイクル法に沿った使用済車の適正処理 電子マニフェストシステム運用・管理台帳にて実施状況の確認、把握
		○解体業者の選定と契約	使用済車処分許可業者との取引 書面契約の締結	・委託業者の選定と許可の確認、契約締結 ・契約内容と許可内容の整合性確認 ・委託業者との契約締結及び自動更新時に許可保有の確認
		○委託業者への現地現物の確認	委託業者への現地現物の確認	・自動車リサイクル法に基づく、処理事業者の確認
	廃油・廃部品の適正な処理	○LLC交換による廃LLCの排出	許可業者との取引	・委託業者の選定と許可の確認、契約締結
		○委託業者の選定と契約	廃棄物業者との書面契約の締結	・契約内容と許可内容の整合性確認 ・委託業者との契約締結及び自動更新時に許可保有の確認 (環境法規制順守の定期的評価表の記入)
		○部品交換による(マニフェストの運用管理)	電子マニフェストの適正運用(産業廃棄物)	・電子マニフェストにて廃棄物の排出状況の確認
		○廃オイルフィルターの排出	委託業者への現地現物の確認	・廃掃法に基づき、産業廃棄物処理事業者の確認
		○委託業者への現地確認		
		○LLC交換による廃LLCの排出	廃LLCの適正処理の推進	・廃LLCタンクでの適正保管、産業廃棄物として排出
	廃部品のリサイクル促進	○部品交換による金属クズの排出	廃エアバッグの適正処理の推進	・廃エアバックとして分別、許可業者へ適正処理の委託
		○廃バンパー、廃発煙筒、廃バッテリー、廃バランスウェイトの排出	廃バランスウェイト、廃発煙筒、廃バッテリー、廃バンパーのリサイクル推進	・トヨタ環境ガイドラインのリサイクル処理手順に基づきリサイクルの実施
		○店舗蛍光管交換による廃蛍光管の排出	廃蛍光管の適正処理の推進	・水銀使用製品産業廃棄物として分別、許可業者へ適正処理を委託
		○廃ディスチャージバルブ(含む水銀)の排出	(廃ディスチャージバルブ含む)	
	CSR (ISO) 対応(環境法令の順守)	○ステーキホルダーへの対応	ステーキホルダーへの対応	・情報連絡ルートに基づき対応
		○個人情報保護法の遵守	個人情報保護法の遵守	・個人情報取り扱いの注意、個人情報保護委員会への報告
		○EMSの全店定着化	ISO14001の定着	・事務局による店舗定期訪問・年1回の内部監査、フォローアップ監査の実施

地球温暖化対策

低公害車・低燃費車の普及により、環境負荷の低減を図り、環境にやさしい車の販売台数を増やすことが一番の対策です。

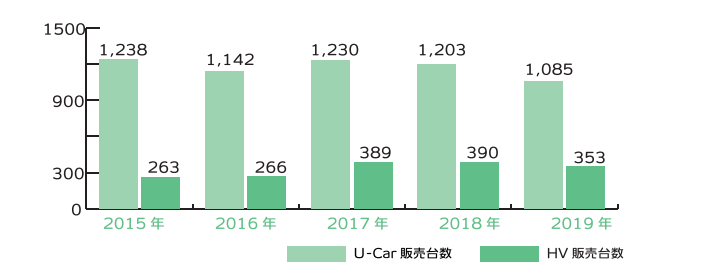
◆新車販売台数に対するHV販売台数・販売比率

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
新車販売台数	5,313台	5,061台	5,116台	4,818台	5,002台
HV販売台数	2,016台	2,018台	1,861台	1,692台	1,707台
HV販売比率	38.8%	39.9%	36.4%	35.2%	34.1%



◆中古車販売台数に対するHV販売台数・販売比率

(台)	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
U-Car販売台数	1,238台	1,142台	1,230台	1,203台	1,085台
HV販売台数	263台	266台	389台	390台	353台
HV販売比率	21.2%	23.3%	31.6%	32.4%	33.2%



環境家計簿 エネルギー使用量をCO2換算し環境負荷の状況を毎年確認しています。

CO2換算係数	電気				ガス		水道	
	0.457				6.00		0.24	
	使用量(kWh)	太陽光発電売電量(kWh)	差引使用量(kWh)	CO2排出量(kg)	使用量(m3)	CO2排出量(kg)	使用量(m3)	CO2排出量(kg)
2015年度	2,782,558	—	2,782,558	1,271,629.01	29,454	176,721.00	31,324	7,517.86
2016年度	2,772,570	—	2,772,570	1,267,064.44	31,492	188,949.30	17,419	4,180.66
2017年度	2,727,556	—	2,727,556	1,246,492.91	32,258	193,549.98	19,338	4,641.00
2018年度	2,583,810	—	2,583,810	1,180,801.17	31,396	188,376.00	18,019	4,324.54
2019年度	2,328,169	43,839	2,284,330	1,043,938.81	25,056	150,333.00	18,405	4,417.15
合計	13,194,663	43,839	13,150,824	6,009,926.34	149,655	897,929.28	104,505	25,081.20

※太陽光発電システムは2019年4月に設置しました。

CO2換算係数	灯油		ガソリン		軽油	
	2.49		2.32		2.58	
	使用量(ℓ)	CO2排出量(kg)	使用量(ℓ)	CO2排出量(kg)	使用量(ℓ)	CO2排出量(kg)
2015年度	11,515	28,671.60	353,524	820,175.63	49,664	128,133.92
2016年度	8,017	19,962.83	362,680	841,417.51	53,355	137,655.75
2017年度	8,583	21,372.42	329,115	763,546.85	58,290	150,388.74
2018年度	6,811	16,959.89	302,829	702,563.23	46,394	119,696.44
2019年度	4,200	10,459.00	282,789	656,071.32	38,502	99,334.64
合計	136,553	5,512,137.57	1,630,937	3,783,774.54	246,205	635,209.49

排出係数出典
◆電気
「電気事業者別排出係数-平成30年度実績」のうち中部電力の調整後排出係数
◆ガス
日本LPガス協会「プロパン、ブタン、LPガスのCO2排出原単位に係るガイドライン」
◆水道
高山市環境政策推進課算出
◆灯油・ガソリン・軽油
「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」

食育事業の取り組み

岐阜トヨペットでは、「食を通じて生きることの本質を伝えたい」という想いから無農薬・無化学肥料栽培（有機栽培）を中山間地の里山で耕作放棄された田畑を耕し、2つの農園で野菜と稲作をして3年目になります。安心・安全を伝える基盤にある農業生産と共に、体験を通じ体感する大切さを伝えています。社会福祉協議会と連携し地域に寄り添い必要とされる会社を目指し活動しています。

「食を通じて生きることの本質を伝えたい」という想いから岐阜トヨペット食育事業は生まれました！

人間の生活の基礎は「衣・食・住」です。なかでも健康で健全な心身を育むために「食」は必要不可欠な要素です。しかし、日本の食料自給率は先進国のなかでも極めて低く、多くの食料を輸入に頼っています。農家の高齢化や担い手不足のため耕作放棄地が増え続けていることも現実的な問題です。



私たちは普段口に入っている食べ物がどこでどのように育てられたものなのか知っているでしょうか？ 本当に安全で安心して食べられる食べ物をどうやって次世代を担う子どもたちに残していけばよいのでしょうか？岐阜トヨペット食育事業では栽培期間中、農薬・化学肥料不使用の農作物づくりを通して、「食」の大切さや自然と共生することの素晴らしさを多くの皆様にお伝えして、本当の意味で豊かな美しい日本の原風景を後世に残していく取り組みを進めています。

2つの農園での取り組み

地名由来の宇津志ファームと伊自良ファーム！岐阜トヨペットには農園が2つあり、何れも中山間地耕作放棄地であった本巣市宇津志地区と山県市平井（旧伊自良村）を作物園場として活用しています。

【宇津志ファーム】

開設：2018年4月
広さ：7,700㎡
主な作物：らっきょう
にんにく・里芋
さつまいも・大根等



【伊自良ファーム】

開設：2019年4月
広さ：16,000㎡
主な作物：お米

※本社が所在する岐南町の「ふるさと納税」の返礼品として、農園のお米を取り扱い頂いています。



ファーム自慢の作物である里芋とさつまいも！親子そろって芋堀を楽しんだ後は、餅つきして豚汁食べて、秋の恵みと作物の収穫に感謝をする1日となりました。



らっきょうの植付作業を本巣市社会福祉協議会みつばのみなさんで行いました。暑い日差しではありましたが、秋風の吹く農園で清々しい作業日よりとなりました。



コシヒカリともち米（もちみのり）の田植えを行いました。田んぼ周りに生息する水生昆虫を横目に、昔ながらの手植えでの田植えは、懐かしさを感じる方もおられました。

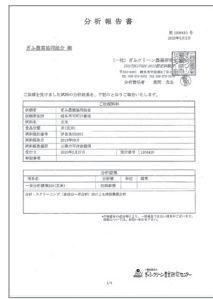


コシヒカリの藁を使ってお正月に飾る注連縄づくりを自社イベントの中で開催しました。藁の編み方や、米・南天・松などの装飾で自然由来の土に帰る注連縄づくりに大好評を頂き大人も子どもも喜んでおられました。

食育事業の取り組み

体験型・体感型の農園づくりはまだ始まったばかりですが、自然環境循環により負荷のない無農薬・無化学肥料栽培（有機栽培）で行う農業を基盤とし、「食を育む」事の大切さや素晴らしさを色々な形で伝えていきたいと取り組んでいます。

●食育事業では栽培期間中「農薬・化学肥料不使用」で栽培した農作物づくりをしています。地域で農業の担い手が高齢化となり耕作放棄地が増えていく中、その活用により、日本の原風景を後世に残していく取り組みをしています。ぎふクリーン農業研究センターに2019年に収穫した「コシヒカリ」の残留農薬の検査を依頼したところ290項目の農薬について「検出せず」の分析結果がでました。



分析報告書

岐阜トヨペットマルシェ“HAPPY MARKET”

高齢化が進み、免許返納や人口減少による地域のスーパーが撤退していく中、買い物難民の増加が大きな社会問題になっています。岐阜トヨペットでは地域のお客様の困りごとにこたえるために移動販売を始めました。食育で育てた野菜やお米、主旨に賛っていただいたスーパーの協力を得ながら食料品をお届けしています。



新鮮な食材をお届けしています



地域の方とのコミュニケーションの場

私たちは自動車販売店です。お車を手放されたお客様とずっと繋がっていたい、少しでもお役に立ちたい、という想いから近くにスーパーのない地域を中心に移動販売を行っています。私たちのまち、岐阜県から、買い物で困っている人をなくすこと。そして、地域の皆様が集まる楽しいコミュニケーションの場をつくることを目指しています。



マルシェスタッフの金丸さん

子ども食堂への協力

2019年から2020年の冬は記録的な暖冬で作物が育ち過ぎ、規格外になった作物を活用できないかと2020年2月に岐南町役場に相談したところ、子ども食堂の運営先を紹介いただきました。医療法人と社会福祉法人が運営する2軒の子ども食堂に食材を提供させていただくこととなりました。無農薬、無化学肥料で栽培した安全な野菜やお米を寄付して継続的に活用いただいています。7月、9月には実際に2名の社員が調理のお手伝いをしました

社会福祉法人さくらゆき様より
子ども食堂にお米とお野菜をご寄付いただきありがとうございます。ご寄付のおかげで、野菜たっぷりメニューにできました。野菜が苦手な子どもが、もりもり野菜を食べている姿をみて、保護者の方が喜ばれていました。また、子どもも大人もお腹いっぱいになり、満腹に帰されました。



かがやき通信



ボランティアで子ども食堂のお手伝い

障がい者の支援活動

国の方針では障がい者が職を得て自立し、納税ができる事を目指しています。障がい者の自立支援を応援するために、「障がい者多機能型事業所」で製造しているそば、うどん、パスタ等の「生めん」をマルシェ事業の移動販売で受け付け、販売しています。また、子ども食堂と同様に無農薬、無化学肥料で栽培した安全な野菜やお米を寄付し継続的に活用いただいています。



麺工房メニュー

地域と協働 環境保全社会貢献活動

岐阜トヨペットは経営理念で「社会に役立つ活動を通じ、地域に貢献できる企業を目指します」と掲げています。自動車販売店として地域の皆様やお客様と共に、環境保全活動や交通安全教育・支援応援等、幅広い分野での活動を積み重ねてきました。これからも、地域の方々やお客様から、岐阜トヨペットがあって良かったと言われる企業を目指し活動していきます。



岐阜トヨペットは地域を支える寄り添う店舗を目指しています

近年の大きな災害が毎年発生している中、岐阜県内地域で災害が発生した時に少しでも地域の方のお役に立てるように準備を進めています。災害備蓄品も用意して万が一の時に災害拠点として役立てるようにしています。

全拠点AEDの設置

岐阜トヨペットでは、お客様や地域住民の方の、万が一に備え、AED(自動体外式除細動器)を全事業場に設置しています。全事業場の社員がAEDの使い方を学んでいます。新入社員研修では、消防署の方に来ていただき「普通救命講習」受講し、心臓マッサージの仕方やAEDの使い方を学んでいます。



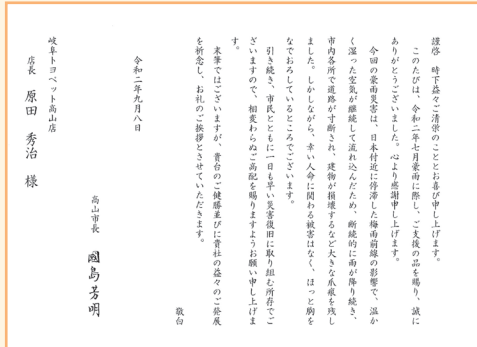
AED(自動体外式除細動器)



心臓マッサージを学ぶ社員

災害備蓄水

全国トヨペット店の「セーフティキャンペーン」の取り組みとして、災害に備え、販売店全店舗に保存水を備蓄しています。災害発生時、被災地に保存水を供給することで、地域になくってはならない販売店をめざしています。2020年7月に、飛騨地域を襲った豪雨災害では、下呂市小坂地域や高山市朝日町へ保存水を社員が直接届けました。隣県の販売店にも協力いただき保存水を現地に送ってもらいました。今後も、被災され困っている方を積極的に支援していきます。3日間で下呂市、高山市へ167ケース約 2,000 本の備蓄水をお届けしました。



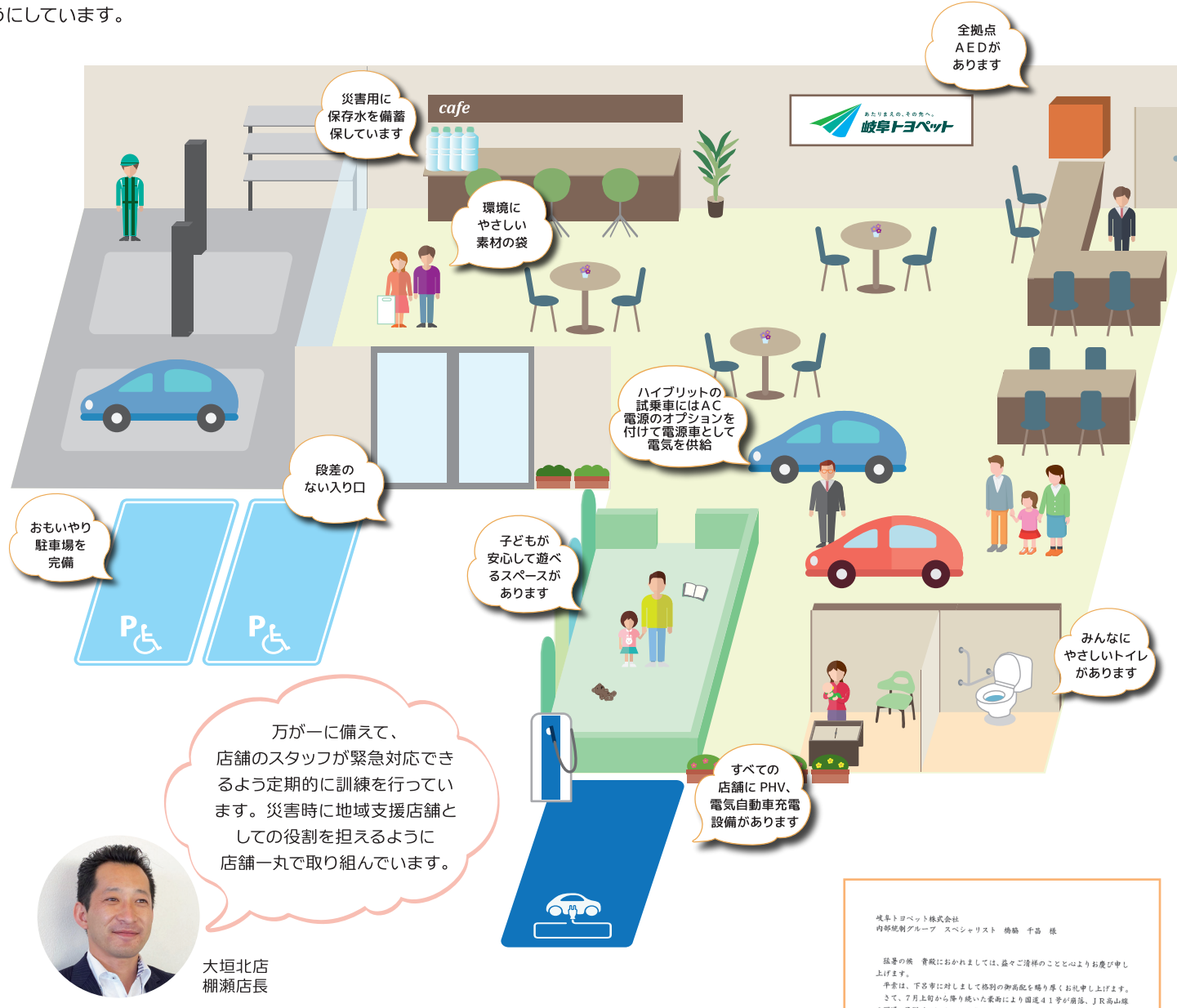
高山市長様より感謝状をいただきました

災害時地域支援店舗

岐阜トヨペットでは各事業場に非常用の食料や備蓄水、電源リール、簡易トイレ、ヘルメットを保管し、社員ならびに地域で被災された方のために備えています。ハイブリットの試乗車にはAC電源のオプションを付けて電源車として電気を供給できるようにしています。



非常用食料やヘルメット



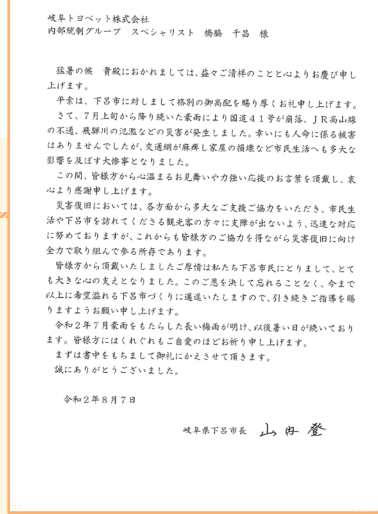
大垣北店 棚瀬店長

災害ボランティア活動

2019年は台風の上陸が多く、特に2019年10月12日に上陸した台風19号が日本各地に大きな洪水被害を引き起こしました。隣県の長野県では千曲川が氾濫して県北部地域に大きな被害をもたらしました。10月20日から、のべ8日間社員がボランティアとして現地に入り復旧のお手伝いを行いました。2020年7月にも豪雨では、岐阜県内にも大きな被害があり、下呂市、高山市の被災地に社員が災害復旧や警戒活動のボランティアに参加しました。



災害復旧ボランティアの様子



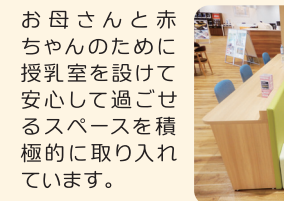
下呂市長様より感謝状をいただきました

お客様や地域の方が集えるコミュニケーションスペース

せっかくきていただいたお客様に少しでも“くつろいでもらいたい”そんな思いでお店づくりをしています。クルマが目的のお客様だけでなく地域の方にもふらっと立ち寄っていただけるそんなお店を目指しています。



お客様にくつろいで過ごしてもらえようカフェスペースを設けています。



お母さんと赤ちゃんのために授乳室を設けて安心して過ごせるスペースを積極的に取り入れています。



赤ちゃん連れの方やハンディキャップのある方も使用できるように多目的トイレを用意しています。



車いすやベビーカーでも店舗に段差なしで入店できるようにバリアフリー化を進めています。



すべての店舗にPHV、電気自動車に充電できるG-ステーションが設置してあります。

環境保全トピックス



環境にやさしい袋の導入

お客様にカタログ等をお持ち帰りがたく手提げ袋を環境負荷の少ない生分解性ポリエチレンに変更しました。プラスチックを少しでも減らすために土にかえる生分解性の袋を使用し自然環境を守る運動をしています。



生分解性ポリエチレン袋

紙ストローへの切り替え

プラスチックの廃棄が海洋汚染や動物の生態系にも大きな影響を与え世界で大きな問題になっています。岐阜トヨペットではお客様に呈茶の際のストローを紙製に切り替え、環境に配慮しています。



紙ストロー

地域社会貢献活動

岐阜トヨペットは創業以来地域に根ざした企業として社会貢献に取り組んできました。地域清掃活動を毎月第二水曜日に行なっています。社員が地域の方に挨拶をしながら清掃活動して社員一人ひとりがボランティアや社会貢献について考える良い機会となっています。社員がボランティア活動をしやすいように又、幅広い活動ができるようにしています。これからも地元の皆さんの理解で長い間自動車の仕事ができることに感謝し今後も社会貢献活動に取り組んでいきます。

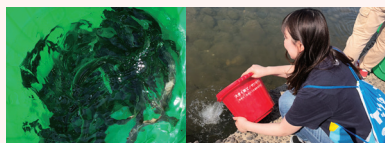
岐阜トヨペットの環境保全活動

トヨタソーシャルフェス

「次世代の環境のために」を活動テーマに、全国47都道府県の地方新聞社・NPOなどの活動団体と連携し全国各地で水辺を守る活動を展開するキャンペーンです。2012年「AQUA SOCIAL FES」として始まり、「もっと地域を、もっと未来を良くするために」と、2018年名称を新たに「TOYOTA SOCIAL FES」として活動しています。岐阜トヨペットでは毎回80名ほどが自主的にスタッフとして参加しています。岐阜県では「長良川クリーン作戦」として早朝より長良川河川敷や堤防の清掃をしています。当日は最後にアユの放流を行い、長良川がいつまでも清らかで豊かな川であり続けることを願います。



たくさんのごみが集まりました



アユの放流を行いました



長良川クリーン作戦



トヨペットふれあいグリーンキャンペーン



1976年全国トヨペット店創立20周年を記念し「緑ゆたかにふれあいの街」をテーマに、グリーンキャンペーンが開始されました。緑豊かな岐阜の風土を守るため、当社は積極的にグリーンキャンペーンに参加し、岐阜県内の公園などにこれまで33品種、5,015本の苗木を贈呈・植樹を行いました。



1976年第1回グリーンキャンペーン



ミナモと一緒に 2017年第42回



四季の森センターに花壇を作りました



岐阜市長と一緒にローズマリーを植える子どもたち

近年では学校や施設に一から花壇を作り、岐阜市長にもご参加いただき環境改善植物を植樹しました。

- 43回(2018年) 本県特別支援学校に、同校農業園芸班の皆さん、網代小学校5年生と一緒にチェリーセージやペチュニアを植樹。
- 44回(2019年)「ぎふ☆ほしのご森ようちえん」が活動する「ながら川ふれあいの森 四季の森センター」にローズマリーとサルズベリを植樹。



岐阜新聞に掲載いただきました



緑の募金

年2回(春・秋)全社に呼びかけ、店頭や事務所に募金箱を設置し募金活動をおこなっています。寄せられた募金は、会社からの寄付金と合算し、岐阜県緑化推進委員会へお渡しします。県内で実施する森林整備事業、緑化推進事業、学校敷地内の緑化事業、森林環境教育や、学校林等を活用した幼稚園、保育園、小・中学校の森林環境教育実施事業、みどりの少年団活動計画に基づいた事業などに活用されます。



緑化推進委員会に贈呈しました



森林整備事業などに役立てていただきました

18年目の地域美化活動

毎月第2水曜日の始業前に、全社一斉ボランティア清掃活動をしています。店舗や本社の周辺道路や空き地などのごみ拾いを2002年1月より続けています。周辺道路を歩きながら清掃することにより、車では通り過ぎてしまうものに気づいたり、ご近所の方と会話を交わすなどとても良い機会になっています。



2002年に開始した地域美化活動は今年で18年目を迎えました



地域との協働活動

未来を生きる子どもたちへ出張授業

◆トヨタ原体験プログラム

子ども達が将来クルマに興味を持ってもらえるようにトヨタ自動車主催の「原体験授業」に積極的に参加しました。空気で動くクルマの模型を使ってパワーとコントロールを学ぶ授業やクルマの製造と環境の両立を双六式のボードゲームで学ぶ授業に8校、のべ506名の小学生が参加してくれました。



空気エンジンカー模型

◆岐阜トヨペット出張授業

社会科授業でクルマの生産から流通を学ぶ小学校からの依頼を受け、燃料電池自動車「ミライ」試乗体験を通じてクルマの仕組みや環境へのやさしさを伝えました。この授業では2校、60名の小学5年生が参加してくれました。また、岐阜県の依頼で羽島市の小学校、岐阜市の中学校で環境授業を行いました。この授業は岐阜県や中部電力などの企業と協力して行うもので、その様子がNHKのニュースや中日新聞、岐阜新聞にも大きく取り上げられました。

環境にやさしい燃料電池自動車「ミライ」の試乗は、のべ120人の生徒さんが参加し、大変良い経験になったとの感想をたくさんいただきました。



環境授業

中日新聞、岐阜新聞に取り上げていただきました



燃料電池自動車【ミライ】の試乗



交通安全教材の贈呈

トヨタ自動車による「幼児向け交通安全教材(絵本・紙芝居)」を県内トヨタ販売店各社と協力し、幼稚園・保育園・幼児園に毎年配布しています。この活動は、「質の高い幼児向け交通安全教材を提供する地域活動」として幼児の交通事故皆無を願い1969年より継続しています。絵本・紙芝居のテーマは「幼児の事故防止」等とし、いずれも園及びご家庭で楽しく学んでいただける教材となっています。



幼児向け交通安全教材(絵本・紙芝居)



献血バスが来ます!

岐阜県献血推進協議会とパートナーシップを組み、30年間で累計1,380名の社員が献血活動を行いました。毎年本社へ献血バスが来て、病気やケガで輸血を必要としている方々の尊い命を救うため、おもに本社勤務者が献血に協力をしています。バスが来るタイミングで定期的に献血する社員が多くいる中で、IT経営推進グループの丹羽さんは、なんと116回でした。



本社へ献血バスがきます



IT経営推進グループ 丹羽さん



地元スポーツチームの応援

岐阜県内を盛り上げるために、地元のスポーツチームを積極的に応援しています。2013年にサッカーチーム「FC岐阜」、2018年からバスケットボール「岐阜スーパース」のスポンサーとなっています。2019年には岐阜高山のハンドボールチーム「飛騨高山ブラックブルズ」の応援をしています。



岐阜スーパース

バスケットボールの「岐阜スーパース」では、5月と1月に冠試合を行い、岐阜トヨペットの多くのお客様をご招待しています。また選手の移動・送迎用に、ラッピングしたアルファードを2018年から貸与しています。



FC 岐阜



「FC岐阜」が運営し、地元の子どもが参加している「サッカースクール」を支援するために2020年からラッピングしたハイエースを貸与しました。



地域のみなさまと一緒に

岐阜トヨペットは自動車販売店でありながら、お客様やご近所様に気軽に立ち寄っていただけるようなお店づくりをしています。お出かけの途中、通りがかりに寄っていただいたり、女性一人でお茶を飲みに来ていただいたり。そんなお客様を社員一同温かくお迎えします。また、経営理念のとおり、社員と社員の家族の幸せのために、よりよい職場づくりを目指しています。

岐阜トヨペットのはたらきやすい職場環境づくり

はたらきやすい職場づくり

社員が安心して働ける環境のために、休暇を取得しやすくしています。有給休暇を2ヶ月に一度取得する「計画年休制度」を2015年から設けています。また多くの社員からの“長期連休以外に連続した休暇が欲しい”という声をうけ、年間休日の中で3日連続取得できる「リフレッシュ休暇」を2019年から取り入れました。新入社員には通常入社6ヶ月後から有給休暇が付与されますが、2020年3月より、入社後5日間の特別休暇が付与されるようになりました。女性社員の育児休暇取得は100%で、また取得した全員が復帰しています。男性社員の育児休暇所得はまだ1名のみですが、今後も取得しやすいように取り組んでいきます。

育休復帰後も、
時短勤務や時間
有休の制度があり、
働きやすい環境です。

営業推進グループ
服部さん

＜育児休暇取得 真正店 堀孝徳さんにお聞きしました＞

●取得のきっかけはどのようなことですか？

4月上旬3人目の出産があり、上の子2人の小学校と幼稚園が新型コロナウイルスの影響による臨時休校のため、妻が入院すると父親の私しか子どもの面倒を見ることができないので、育児休暇を11日間取得しました。

●取得してどうでしたか？

取得してよかったです。妻も子どもたちも喜び、妻は安心して出産出来ました。せつかくの制度なので、他の人も利用されると良いと思います。

ボランティア休暇制度

近年、地球温暖化の影響による異常気象で日本にも大きな災害が発生するようになり、ボランティアの需要が高まるようになりました。地域貢献活動ができるように多くの社員の声をうけ、2019年7月「ボランティア休暇制度」を創設し、社員の地域貢献活動の後押しをしています。また、県外での活動には一定のルールに沿って活動支援金を支給し、参加する社員の負担を軽減しています。また、このボランティア休暇は医療のドナーになった場合も取得できるので日本骨髄バンクの「ドナー休暇制度導入企業」として登録されました。

岐阜トヨペット環境レポート 2020

17

環境レポート2020への第三者意見

＜総括＞

貴社のESG経営理念に沿った「人と自然と車がいつまでも一緒に走り続ける社会」、「緑」、「安心・安全な街」、「きれいな街」、「クリーンな未来」の実現を目指した様々な取り組みは、SDGsを推進する上で、すべてのセクターの模範となる取り組みであり、大いに評価できます。

＜個々の取り組みに対する意見・評価＞

（1）環境保全活動

環境方針を定め、PDCAサイクルにより継続的な改善を進めていることは大いに評価できます。また、ISO14001の取得による全社を挙げた環境保全活動や、低公害車・低燃費車の普及、オフィスにおける電力デマンドシステムの導入なども大いに評価できます。更に、環境負荷低減を図るため、マテリアルフローによる電気・燃料などの使用量や廃棄物排出量の把握、原単位によるウエス・電気・水道の各使用量の削減管理などが行われている点は評価できます。今後は、電気使用量やガス使用量、コピー用紙使用量などについて、一層の削減を図るため、それぞれの削減目標量を定め、計画的な対策を講ずることも検討する必要があると思われます。

（2）自然環境保全活動

食料自給率が低い我が国において、「食を通じて生きることの本質を伝えたい」との思いから食育事業を進めている点や、また、その取り組みの中で耕作放棄地を利用したり、有機栽培を採用している点は、生物多様性の保全を図る観点からも大いに評価できます。

「生命の星・美しい星」地球を未来に引き継ぐために

国の地球温暖化対策方針である「2050カーボンニュートラル」を推進するためには自動車産業界の役割は益々重要であります。「生命の星・美しい星」地球を未来に引き継ぐために、社員一人ひとりが自覚をもってSDGsの取組を一層推進されることを大いに期待しております。

（3）社会貢献活動

食育事業で育てた野菜、米などを、高齢化社会が進み、過疎化が進む地域に対し、岐阜トヨペットマルシェとして提供する事業や、子ども食堂への協力、障がい者支援などに利用している活動は大いに評価できます。また、地域住民に対し、各店舗をコミュニケーションスペースとして提供する取り組みは、地域コミュニティが崩壊している現在、大変有意義な取り組みです。更に、全店舗にAEDや非常用の食料、備蓄水、電源リールなどが整備されていることは災害時などに対し地域住民の「安心」に貢献できる取り組みであり、大いに評価できます。

岐阜薬科大学
学長
稲垣隆司氏

土岐市出身、岐阜薬科大学卒、国立公衆衛生院修了後、愛知県に入庁、環境部長、副知事を歴任、退官後は名古屋競馬(株)社長、名古屋学院大学理事長、平成26年4月から岐阜薬科大学長、その間、中央環境審議会委員、愛知陸上競技協会会長等を歴任

ご意見・ご感想をお聞かせください

「岐阜トヨペット環境レポート2020」をご覧ください、誠にありがとうございます。より良いレポート制作をしていくため、どうぞ忌憚ない皆様のご意見、ご感想をお聞かせください。

WEB
アンケート

岐阜トヨペット環境レポート 2020

18

トップインタビュー

環境マネジメント

食育事業

地域社会貢献

第三者意見



Sunflowers

Gifu Toiropet Girls

岐阜トヨペットの女性スタッフによる女性ドライバーの為のサポートプロジェクトで、女性目線でクルマに関するお役立ち情報や、お出かけスポットなどをホームページやフリーペーパーで紹介しています。

店舗の自主イベントのひとつである体験イベントでは、お客様やご近所様が、お友達とまたはお一人でも気軽に参加していただき、季節の花のアレンジメントや、クリスマスリース、チョークアート、ソーパークーピング作りなどを行いました。作品製作後には、ティータイムがあり、こちらも好評です。最後に作品とともに記念撮影をして皆さん笑顔で帰られました。

4

車の良い情報も
みんなに

5

ジェンダー平等を
推進しよう

11

地球温暖化を
減らすために

今年にはコロナ禍の影響で交通安全の啓蒙やコロナ禍でも楽しめるスポットの紹介が活動の中心となりました。今後もお客様に岐阜トヨペットの熱いサポーターになってもらえるような活動を推進していきます！



サンフラワーズ
キャサリンさん

体験イベント in 中津川店

「フラワーアレンジメント」



綺麗な
お花ね～

綺麗なアレンジが
出来ました!!

安心・安全なドライブを楽しくするための

交通安全講座





ライズ

ライズは、コンパクトなボディながら、運転のしやすさ、燃費の良さ、そして最新の安全装備を備えています。初心者の方でも安心してドライブを楽しめます。



アクア

アクアは、最新の安全装備と、快適な運転環境を備えています。家族みんなで安心してドライブを楽しめます。



アクア

アクアは、最新の安全装備と、快適な運転環境を備えています。家族みんなで安心してドライブを楽しめます。



アクア

アクアは、最新の安全装備と、快適な運転環境を備えています。家族みんなで安心してドライブを楽しめます。

この車でドライブしてきました！



ライズ

ライズは、コンパクトなボディながら、運転のしやすさ、燃費の良さ、そして最新の安全装備を備えています。初心者の方でも安心してドライブを楽しめます。



アクア

アクアは、最新の安全装備と、快適な運転環境を備えています。家族みんなで安心してドライブを楽しめます。



アクア

アクアは、最新の安全装備と、快適な運転環境を備えています。家族みんなで安心してドライブを楽しめます。



アクア

アクアは、最新の安全装備と、快適な運転環境を備えています。家族みんなで安心してドライブを楽しめます。

Sunflowers イベント in 岐阜東バイパス店

～Salon de バイパス アクセサリー作り～



バイパス店にて Salon de バイパス アクセサリー作りを開催しました!! アクセサリーはジーンで作成!! ビーズだったり、フローアだったり、皆さんオリジナルのアクセサリーができました!! バイパス店の皆さんありがとうございました!!

はたらきやすい職場づくり

社員が安心して働ける環境のために、休暇を取得しやすいです。有給休暇を2ヶ月に一度取得する「計画年休制度」を2015年から設けています。

また多くの社員からの“長期連休以外に連続した休暇が欲しい”という声をうけ、年間休日の中で3日連続取得できる「リフレッシュ休暇」を2019年から取り入れました。

新入社員には通常入社6ヶ月後から有給休暇が付与されますが、2020年3月より、入社後5日間の特別休暇が付与されるようになりました。

女性社員の育児休暇取得率は100%で、また取得した全員が復帰しています。

男性社員の育児休暇所得はまだ1名のみですが、今後も取得しやすいように取り組んでいます。

育児復帰後も、
時短勤務や時間
有休の制度があり、
働きやすい環境です。

営業推進グループ
服部さん

＜育児休暇取得 真正店 堀孝徳さんにお聞きしました＞

●取得のきっかけはどのようなことですか？

4月上旬3人目の出産があり、上の子2人の小学校と幼稚園が新型コロナウイルスの影響による臨時休校のため、妻が入院すると父親の私しか子どもの面倒を見ることができないので、育児休暇を11日間取得しました。

●取得してどうでしたか？

取得してよかったです。妻も子どもたちも喜び、妻は安心して出産出来ました。せっかくの制度なので、他の人も利用されると良いと思います。



第三者意見